1. 総括

新型コロナウイルス感染予防対策として、3密を回避しながら個別での作業スペースを確保するため、今年度も午前と午後の2部制を継続した。昼休み・15:00以降の2回、職員による消毒作業を行った。

2時間の作業時間を継続したことで、プレッシャーを感じずに作業できる利用者(主に、精神障害)が増え、通所日や通所時間が増えた。それぞれのペースや体調を尊重しながら、通所日の設定や作業の切り出しを行ってきた。利用者の特性や体調を把握し個別の対応を行うことで体調や気分が安定し、B型から一般企業障害者雇用枠への就労につながったケースもあった。

「KANUMAISM (カヌマイズム)」の活動を中心に行っている地域連携事業では、昨年新たな自主製品として製作が始まった「ペットのかじり木」について、商品形態のことなる「スリムタイプ」が追加になった。また、鳥居跡町自治会よりの委託作業として、広報誌の仕分け作業を開始した。神社清掃を継続するとともに、新鹿沼駅前「いちごのオブジェ」の清掃作業も開始し、地域貢献に努めている。

e-スポーツチームが栃木県eスポーツ協会と協働して「スマッシュブラザーズ」の大会を開催した。利用者はもちろん、地域の小学生が参加し多年齢の交流を深めた。中小企業家同友会会員企業や、地域の事業主等からスポンサーとして寄付が集まり、賞品の購入や運営費に充てることができた。それらの活動を通して自信を深めた利用者が、目標である「プロゲーマー」への実現にむけて、CCVを卒業し他事業所へ移るなどの効果もみられている。

2. 年間利用者数 (人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日収	21	22	22	22	22	21	22	22	22	21	21		238
1日平均利用者数 (人)	21	20	22	23	22	20	22	22	20	20	19		19.7
延利用者数	447	442	487	511	488	436	494	471	448	422	395		5041

※主な欠席理由…体調不良・精神不安定・家事都合(通院など)

3. 担当職員

サービス管理責任者：宇賀神美菜子

生活支援員：大貫祐子、関口明日香、伊藤志津、島中智也

職業指導員：小森敏江

目標工賃達成指導員：宇賀神由子

4. 就労支援事業

(1) 職業（作業）支援

①製菓製パン部門

売上目標額 300万円（実績 533万円）

成 果

- ・新規販路（福田屋鹿沼店）
- ・売り上げ目標達成
- ・鹿沼市役所内多目的スペースでの「バリアフリーマーケット」パン販売参加

課 題

- ・パン焼成に入れる職員に限られるため、育成していく必要がある

《下請け作業》

業者：中央パッケージ、sansan、ハッピースパイス、野尻商店、鹿沼市図書館、鹿沼市市民部人権推進課、月とスパイス、ウィステリアエステート、おこんにゃく茶屋、植木鋼材、鳥居跡町自治会、

成 果

- ・委託の清掃作業が始まり、利用者の適正にあわせ作業の振り分けができた
- ・納期などを意識しながら作業に取り組む利用者が増えた
- ・あらたに地域連携の作業が増えた

課 題

- ・ペン作業の依頼が増えているが、職員の退職があり体制の維持が難しい

④自主製品部門

《ペット部門》

- ・新たに、「ペットのかじり木スリムタイプ」という商品を作ることができた。
(細すぎて商品になりづらかったものを集めて商品化した)

(3) 収益事業の収支報告

- ・総売り上げ 7,162,160円（前年比 74%）
- ・工賃総支給額 4,671,880円（前年比 80%）
- ・支給人数 371人（前年比 95%）
- ・月額平均工賃 12,600円（前年比 84%）

<月別工賃支給額>

月	工賃支給額	支給人数	平均工賃
4	378,480円	30人	12,616円
5	412,190円	31人	13,296円
6	417,060円	31人	13,454円
7	392,140円	31人	12,650円
8	406,040円	29人	14,001円
9	420,820円	32人	13,151円
10	396,460円	31人	12,789円
11	399,020円	31人	12,872円
12	335,080円	30人	11,169円
1	352,130円	32人	11,004円
2	362,200円	32人	11,319円
3	402,990円	31人	13,000円
合計	4,674,610円	371人	12,600円

※今年度は、年度末手当なし

就労継続B型事業

1. 職員会議、支援会議

(1) 職員会議

- ・毎月1回開催
運営会議、世話人会議、研修会等の報告（15分間）
課題についての協議・検討

(2) 支援会議

- ・支援会議：月1回開催
- ・支援計画検討・作成、モニタリング、ケース検討
課題
- ・個別支援計画研修に参加できなかった職員がいなかった

(3) 総括・事業計画会議

- ・令和5年度事業総括会議
1月13日（土）
- ・令和6年度事業計画作成会議
1月27日（土）

2. 職員研修

今年度は公益財団法人日本社会福祉弘済会の助成金をうけ

”辛くならない支援“と持続可能な関係作りを考える

「心と人に寄り添うセルフコンパッションの地域づくり研修事業」

と題し、講師を招き、支援をする上での「セルフケア」研修を行った

5月：読売新聞編集委員 山口博弥氏

『「セルフコンパッション」という思いやりの力の取材現場事例から』

7月：NTTコミュニケーション科学基礎研究所リサーチスペシャリスト

藤野正寛氏

『「セルフコンパッション」という思いやりの力は、身体・神経・脳にどのような変化を起こしているのか？』

10月：上智大学グリーンケア研究所特任教授 心理療法士 栗原幸江氏

『“辛くならない支援と持続可能な関係づくりの”のためにセルフコンパッションを身につけるには』

1月：人間環境大学総合心理学部教授 伊藤義徳氏（オンライン講座）

『「課題のある子どもたちを支援するヒントとなるセルフコンパッション』

- ・障害者施設職員研修会（島中智）
- ・苦情を予防する接遇コミュニケーション（全職員）
- ・福祉サービス事業所に求められる苦情対応について（宇賀神美）

3. 安全・安心

（1）防災管理

- ・消火、通報、避難誘導の訓練を年2回実施
- ・消防設備の定期点検を年2回実施（委託業者：（株）メディア・システム）

課 題

- ・喫煙所の環境整備

（2）危機管理

- ・事故・ヒヤリハット報告 件
- ・報告書については、回覧し終礼で共有した。
- ・再発防止についての対策について職員間で話し合い、共有した。

（3）苦情解決・虐待防止

- ・今年度の苦情は0件

成 果

- ・虐待に対する申し出はなかった。
- ・虐待に関する全職員研修を実施した。

課 題

- ・苦情までいかないクレーム事案あり。
- ・カスタマーハラスメントに対する対応

4. 送迎サービスの実施

- ・市内循環2コース運行（朝・昼）

5. 余暇活動

- ・大谷資料館周辺散策（4月Epic合同）
- ・DVD鑑賞会（5月）
- ・CCV文化祭（10月）
- ・仕事納めBINGO大会（12月）

課題

- ・土曜出勤の職員体制
- ・外食を行う余暇活動を再開していきたい

6. 生活支援

健康管理

- ・コロナウィルス感染対策お便り配布、抗原検査キッド配布
- ・通所時の検温、手洗い、アルコール消毒
- ・年1回の健康診断、診断結果と要精検の把握
- ・インフルエンザ予防接種の実施（奥山医院：ダック）
- ・昼休憩時と作業終了時、作業場の消毒
- ・1時間に1回の換気

相談援助

- ・B型として支援できることを明確にしたことで、相談件数は減っている
- ・就労以外の相談は、適切なサービスや医療に繋げるため、相談支援員さんと連携し対応した

課題

- ・通所回数の少ない利用者の健康診断受診について
- ・次年度、インフルエンザ予防接種を継続するか？

7. 環境整備

- ・二荒山神社一の鳥居、新鹿沼駅前いちごオブジェの清掃
- ・地域清掃

8. 地域・関係機関との連携

(1) 認定NPO法人取得を目指す。

- ・ホームページの更新・管理
- ・SNSの管理
- ・認定NPO法人委員会の定期開催
- ・CCVだよりの発行（年3回）

- ・正会員、賛助会員の名簿管理

課 題

- ・ホームページの更新があまりできていない
- ・賛助会員数があまり増えていない
- ・会員名簿と新規か継続の把握と会費の管理

(2) 実習生の受け入れ

- ・今年度受け入れなし
- ・基本情報の確認後、支援計画作成後受け入れ実施
- ・外部機関も交えての事前面接

(3) 地域連携

- ・KANUMAISMの作業は一部、継続できた。野州麻を使った「ペットのかじり木」で、新たな商品形態をつくった(スリムサイズ)
- ・3年ぶりに復活したまろにえ21商店街「100円市」に参加
- ・二荒神社一の鳥居の清掃を継続した。新鹿沼駅前いちごオブジェ清掃を追加
- ・鳥居跡町自治会さまより、広報誌の仕分け作業を委託
- ・大関種苗店さま、実習受け入れ継続
- ・ウイステリアエステートさまより、清掃作業委託